

	所在地	申請主体	テーマ	助成額 (総事業費)	
		(代表者名)	事業内容		
1	鈴鹿市	ピアテック有限会社	環境にやさしい分電盤、配電盤収納ボックス内結露防止プレートの研究・開発及び商品化	1,258,000 (1,981,850)	
		瓜生 喜章	乾燥剤シリカゲルの調湿機能を利用した、分電盤、配電盤収納ボックス内の湿度をコントロールする結露防止プレートの開発。 電力、通信、鉄道会社向けに提供でき、スペースヒーターの代替として省エネ効果が大きい事業。		
2	熊野市	熊野精工株式会社	熊野発ものづくりの技術屋が考える獣害機器開発プラン	4,000,000 (6,300,000)	
		山門 信也	獣害多発地域といった農家の悩みを地場の地の利を活かし、対策機器の開発、製造販売につなげ、農家の地域課題を解決すると共に、新たな商品開発による雇用の維持、創出を図る事業。		
3	名張市	株式会社紀和マシナリー	ハイブリッドガイド搭載のコラムトラバース式横形マシニングセンタの開発	4,000,000 (6,555,676)	
		西井 幸司	「ハイブリッドガイド搭載のコラムトラバース式横形マシニングセンタの開発」。 軸移動の案内技術として滑りガイドと転がりガイドを併用した当社独自のハイブリッドガイド搭載により剛性を保ち機械のコンパクト化を実現する事業。		
4	多気郡明和町	株式会社なかよし	在宅介護と自立支援を意識した福祉用具の開発、製造による生活の質向上プラン	4,000,000 (6,908,800)	
		林 雅哉	在宅介護と自立支援を意識した福祉用具を開発、製造、販売する。 多くの皆様の「あったらいいな」という思いを形にする活動を展開する事業。		
5	松阪市	株式会社尾鍋組	残土が発生しない砕石の地盤改良技術の開発	4,000,000 (6,300,000)	
		尾鍋 哲也	三重大学と開発した砕石による住宅地盤改良技術「エコジオ工法」は、排出した土砂の残土処分が必要だが、土砂を排出しない地盤改良工法に改良し、実用化するための技術開発を行う事業。		
6	鈴鹿市	三重工熱株式会社	加熱メカニズムの解明による陶器鍋類も使用可能なIH電磁調理器の開発	4,000,000 (6,300,000)	
		栗須 百合香	解っているようで良く解っていない加熱メカニズムを基礎現象から解明して最適な加熱コイル形状や構造を追求し、ニーズの多い「陶器鍋類も使用可能な電磁調理器」の開発を行う事業。		
7	四日市市	株式会社キコーコーポレーション	特許新技術を使用したインフルエンザ迅速診断キットの開発・製品化	2,985,000 (4,702,500)	
		渡邊 あい子	既存の「インフルエンザ迅速診断キット」の検知の仕組みを変えることにより、インフルエンザ重篤患者を減らし、ものづくりで県内産業の盛り上げを進めていく事業。		